

設立60周年記念

米沢地区卓球協会60年誌

平成18年

米沢地区卓球協会

目 次

1	挨拶	米沢地区卓球協会会長	亀岡剛	1
	祝辞	山形県卓球協会会長	佐々木幹男	2
		米沢市長	安部三十郎	3
		米沢市議会議長	須藤紘一	4
		米沢市教育長	舩田忠雄	5
		米沢市体育協会会長	色摩安紘	6
2	協会役員の変遷			7
3	協会のあゆみ			
	(1)	卓球の沿革		8
	(2)	米沢における芽生え(戦前時代)		8
	(3)	協会の設立(昭和21~33年)		9
	(4)	協会の充実期(昭和34~43年)		10
	(5)	置賜地区卓球協会の誕生 (昭和44~45年)		10
	(6)	協会の安定期(昭和46~56年)		11
	(7)	協会の発展(昭和57~63年)		12
	(8)	協会の変革(平成元~11年)		12
	(9)	現在の協会(平成12~18年)		13
	(10)	置賜地区高体連卓球専門部		15
4	活躍の足跡			
	(1)	戦前の選手達		16
	(2)	米沢商業学校の黄金期		16
	(3)	戦後の卓球界		18
	(4)	高校生の活躍1(昭和時代)		19
	(5)	高校生の活躍2 (昭和時代の置賜地区大会)		21
	(6)	高校生の活躍(平成時代)		22
	(7)	国民体育大会での活躍		23
	(8)	中学生の活躍		23
	(9)	スポ少の活躍		28
	(10)	サクサ卓球部		31
	(11)	ルネサス北日本セミコンダクタ卓球部		32
	(12)	卓毘会		34
	(13)	卓愛会		35
5	卓球の思い出			
	(1)	齋藤悟		39
	(2)	齋藤俊也		40
	(3)	尾崎辰雄		41
	(4)	石山勘一		43
	(5)	大滝勤		44
	(6)	高橋勝廣		45
	(7)	佐藤敏夫		46
	(8)	高山孝吉		48
	(9)	板垣健二		49
	(10)	秋葉真治		50
	(11)	小笠原まさ子		52
	(12)	白根沢利雄		55
	(13)	高橋浩一		56
	(14)	鈴木一雄		57
	(15)	伊藤誠二		59
	(16)	石川宏		61
	(17)	鈴木孝行		62
	(18)	後藤直思		63
	(19)	松田尚子		64
	(20)	皆川武司		66
	(21)	田中和征		67
	(22)	高石恵理		67
	(23)	伊藤知佳		69
	(24)	横山和広		70
6	あとがき			



米沢地区卓球協会設立 60 周年を迎えて

米沢地区卓球協会 会長 亀岡 剛

このたび、米沢地区卓球協会設立 60 周年を迎えることが出来ましたこと心より喜びに堪えません。

これもひとえに、米沢地区卓球界の発展のためご尽力下さいました諸先輩と数多くの関係者の皆様の、ご理解とご協力の賜物と心から感謝申し上げる次第でございます。

戦後間もない昭和 21 年、卓球に情熱を燃やす先輩方によって「米沢地区卓球協会」が設立されました。昭和 21 年に設立された「山形県卓球協会」にも加盟し、以来、年々普及発展し、置賜全地域が「米沢地区卓球協会」の組織の下で運営されておりましたが、置賜地区卓球界のめざましい普及により、会場や大会運営に支障をきたすようになり、昭和 44 年に「米沢地区卓球協会長井支部」が発足しました。さらに、昭和 45 年には「米沢地区卓球協会」から米沢市を除いた東西置賜市町村が発展的に分離独立して「東西置賜地区卓球協会」が設立され、その後「置賜地区卓球協会」と改称し、現在に至っています。

以来、「米沢地区卓球協会」は米沢市内の加盟会員によって運営しております。その間、県卓球協会とも協力して卓球界の発展に寄与してまいりました。

また、事業として各種大会の実施、審判講習会、指導者講習会、そして卓球技術と競技力の向上のため毎年強化講習会を開催しています。講師には、世界選手権優勝の長谷川信彦氏、曹燕華氏、全日本選手権優勝の斉藤清氏、嶋内よし子氏、阿部博幸氏をはじめ多数招聘しています。

競技では、山形県中学校大会男子団体で米沢二中が 3 回優勝、米沢三中が 1 回優勝、女子団体で米沢二中が 4 回優勝、米沢四中が 2 回優勝しています。山形県高等学校大会男子団体では、米沢工業高校が 2 年連続優勝、米沢中央高校が 2 年連続 3 冠に輝きました。東北マスターズ大会、全日本ラージボール卓球大会でも米沢市卓愛会の選手が多数優勝しています。詳しくは記念誌をご覧ください。また、昭和 54 年に「米沢市卓球スポーツ少年団」が誕生し、子供の健全育成を指導目標に活動しています。さらに、昭和 63 年にラージボール卓球が導入され、めざましく普及発展して各種大会で活躍しております。今後益々少子高齢化が進む中、競技スポーツとともに人々の健康維持と増進のために生涯スポーツとしても大変重要になっております。

米沢地区卓球協会設立 60 周年の喜びをかみしめ、役員一同心を新たにして一層努力致す所存でございます。

終わりにになりましたが、60 周年記念事業として記念誌を発行致しましたが、お忙しいところ玉稿を賜り、また、貴重な資料を提供頂きました方々に対して、厚くお礼申し上げますとともに、皆様方の一層のご指導とご支援をお願い申し上げ、ご挨拶と致します。



祝 辞

山形県卓球協会 会長 佐々木幹男

米沢地区卓球協会の設立60周年を心からお喜び申し上げます。

私事になって恐縮ですが、私は米沢東高校で本県公立学校教員としてのスタートを切り、部活動では卓球部顧問を命じられました。勤務したのは昭和40年代初めの四年間でしたが、この間、置賜地区高体連、米沢地区卓球協会の一員に加えていただき、大変お世話になりました。現在、身に余る大役ながら、定年制下での最古参を以って県卓球協会の会長を仰せつかっております。私が長年にわたって卓球一筋の人生を歩むことが出来たのも、米沢時代に先輩の皆様から顧問術、指導法などの懇切なご教示をいただき、さまざまな会合において新入りの仲間と親しくおつき合いいただいたことが原点になっているからだと思います。いつも米沢を訪ねる時は故郷に帰ったようななつかしさを覚えます。それだけに、このたび米沢地区卓球協会が隆盛の中に節目を迎えられましたことは、殊の外うれしく思われます。

米沢は戦前から卓球が盛んであり、本県の先進地であったと聞いています。不幸な戦時中断を経て戦後スポーツの新しい時代が到来すると、いち早く卓球愛好者の活動が再開され、昭和21年には置賜全域を対象とした米沢地区卓球協会が結成されました。その後、昭和45年に置賜地区卓球協会の発足に伴って米沢市一市を対象地域にする協会に衣替えし、今日に至っています。この間、歴代会長の卓越した指揮の下に活発な協会活動を展開され、60年にわたって価値ある頁を刻んでこられました。また、本会に対しましても、地区にあって重要な役職を担われている方々が役員として参画し、主催・主管大会の運営、強化事業の推進のために、多大の協力をいただいております。敬意とともに深く感謝申し上げます。

卓球とは誰でも、気軽に楽しめるという特性を備えたスポーツですが、近年は社会全体のスポーツに対する関心の高まりとラージボールの普及によって、中高年層の卓球愛好者が増加しています。これに伴って、本会ははじめ各協会においては、競技スポーツとしての強化事業の推進と合わせて生涯スポーツの観点による普及事業との取り組みが重要な課題になっておりますが、米沢地区はその先進地区になっています。さらに来年度は東北レディース大会の主管をお願いしており、大きな期待が寄せられています。

最後に、60周年を契機として、米沢地区卓球協会が今後ますます発展することをご祈念申し上げ、お祝いの挨拶といたします。



祝 辞

米沢市長 安部三十郎

米沢地区卓球協会の設立 60 周年、誠におめでとうございます。併せて記念誌を発刊されますことに心からお喜び申し上げます。

子ども達の育成を含めた技術の強化と、その魅力、楽しさ、醍醐味を一人でも多くの人達に教え伝えようと普及活動にご尽力されました役員の皆様方、また、日頃から厳しい修練を積み重ねていらっしゃる選手の皆様方に心より敬意を表します。

さて、卓球というスポーツも時代を経て、一般の方々の受け止め方が相当変わってきたのではないかと思います。オリンピックの正式競技であり、私達がテレビで一流選手の活躍を目にする機会も多くなりました。また一方では、子どもから高齢者まで、幅広い年齢層の方々が気軽に、そして誰もが楽しめるスポーツであります。誰でも一度はラケットを手にし、汗を流しながらボールを打ち合ったことがあるのではないのでしょうか。ルールを詳しく知らなくともみんなが楽しくできる、スポーツの原点がここにあるのではないかと思います。

本市においても、誰もが、気軽に楽しめるスポーツ環境づくり、文化的要素も取り入れたコミュニティの再生など、スポーツで地域住民が連帯したまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

"誰もが楽しめるスポーツ"を大切にしながら、次の40年・50年先を見据え、裾野の拡大と、強化育成が車の両輪のごとく進められることをご祈念申し上げますとともに、本紙編纂にご尽力されました関係者の皆様に敬意を表しまして祝辞といたします。

祝 辞



米沢市議会議長 須藤紘一

米沢地区卓球協会がこのたび60周年を迎えられ、『記念誌』を発行されますことは、誠に意義深く、心からお喜び申し上げます。米沢市議会を代表いたしまして一言お祝いを申し上げます。

卓球は数あるスポーツの中でも、老若男女を問わず誰でもできるスポーツであります。最近では、「ラージボール」という普通のピンポン玉より一回り大きいボールを使用する競技も普及し、中高年の方々でも気軽に参加できる工夫がなされています。軽スポーツまたは生涯スポーツの一環として、体力増進を図るために卓球を楽しむ人が増加し、卓球人口が増えているとの話もございます。

また、本格的なスポーツ競技として卓球をとらえた場合、青森山田高校から早稲田大学に進学が決まった福原愛選手のように、世界をまたにかけた活躍が新聞・テレビ等で報道されております。彼女の存在が、本市の卓球を志す小・中学生や高校生に与える影響も計り知れないものがあると思います。各地区のスポーツ少年団や各学校の部活動を通じて、米沢市出身の卓球選手が少しでも大きな大会で活躍できるように、貴協会が中心となって育成していただければ幸いと存じます。

急テンポで移行する現在の高度情報化社会の中では、思考の切り替え等も重要な部分ではありますが、社会を動かす力の源は、健全な肉体に宿る健全な精神やパワーだと思います。そうした意味では、貴協会が60年の歩みとともに果たして来られました役割は誠に大きく、賞賛されるものでございます。

米沢市の卓球界の創設期から今日までの歩みをまとめられ、さらに将来への発展の基となる『記念誌』発刊に心から敬意を表し、さらに米沢地区卓球協会のさらなる飛躍をご期待申し上げ、お祝いの言葉といたします。



祝 辞

米沢市教育長 舛田忠雄

「米沢地区卓球協会」が創立60周年を迎えられ、ここに記念誌を発刊されますこと、御同慶の至りであり、心からお祝いを申し上げます。

昭和21年、貴協会の創立以来、関係各位におかれましては、選手の育成強化に尽力されるとともに、卓球の普及活動にも精力的に取り組まれ、市民スポーツの振興発展に大きく貢献されてまいりました。

そしてこのたび、めでたく60周年という輝かしい節目を迎えられましたのも、会員の一人ひとりが一丸となった弛まぬご尽力の賜であり、深甚なる謝意と敬意を表する次第であります。

卓球は、敏速な判断力、強い精神力、そして緻密な計算が要求される高度な競技性を有するスポーツであるとともに、一方では、老若男女を問わず誰でも手軽に楽しめるスポーツでもあります。レクリエーショナルな楽しみ、手軽さの中にも奥の深さがある何とも魅力的なスポーツであると思います。それ故、若年層から高齢者に至るまで幅広い愛好者層に支えられて普及しているスポーツであり、特に近年は、「ラージボール」の普及に伴って中高年者の活動が盛んになり、卓球界の活性化に大きな刺激となっておりますこと、誠に喜ばしい限りであります。

近年、あらためて心の豊かさや心身の健康の大切さが叫ばれてきているなか、年齢や性別を問わず手軽で安全に楽しめる卓球は、私たちの生活に潤いと活力を与える生涯スポーツの推進面で大きな役割を果たされるとともに、生き甲斐と活力ある社会づくりのための総合型地域スポーツクラブの育成・推進に大きく寄与されんことを切に願うものであります。

結びに、貴協会の益々のご発展を心からお祈り申し上げますとともに、本市体育スポーツの振興になお一層ご支援賜りますようお願いを申し上げ、お祝いの言葉といたします。



祝 辞

米沢市体育協会 会長 色摩安紘

このたび、輝かしい伝統を誇る「米沢地区卓球協会」が創立60周年を迎えられ、ここに記念誌を発刊されますことは、伝統を引き継ぎ将来への発展を考えると、誠に意義深く心からお祝いを申し上げます。

終戦翌年の昭和21年、貴協会が設立され、同年に山形県卓球協会に加盟されるとともに、我が米沢市体育協会にも加盟されました。その後の本市卓球界の活躍を顧みますと、昭和27年の第7回国体において本市出身メンバー率いる山形県チームが準優勝をおさめ、また、昭和40年には、第20回国体東北予選会で優勝、その国体でベスト8に入賞されるなど、数々の大会において輝かしい成績を収めてこられました。これまでの関係各位のたゆまぬ努力により、今日のような磐石の卓球協会の運営の姿があるわけであり、永い歳月にわたって、協会の運営にあたってこられました歴代会長はじめ関係者のご尽力に対し、心から敬意を表する次第であります。

近年、少子化が叫ばれる中、日本卓球協会の登録会員数は、連続して増え続けており、特に若い会員の方々が大幅に増えていることは誠に喜ばしいことであります。2004年のアテネオリンピックでは、我々に大きな感動を与えてくれた15歳の福原愛選手の活躍は記憶に新しいところであり、卓球は明るい人気スポーツ、若者をも引きつける魅力あるスポーツとして、若い人から高齢の方まで幅広い層で卓球が活性化していることの表れであると思います。

一方、ラージボールの全国大会では、米沢からも中高年者の卓球愛好者で組織されている「卓愛会」を主体として毎年出場され、毎回上位入賞者を多数出されていることは誠に喜ばしく、我が米沢市体育協会の加盟団体として、貴協会が大いに活躍されていることは誠に心強い限りであります。最後になりますが、貴協会の今後ますますのご発展と、会員皆様のご健勝と更なるご活躍を心からお祈り申し上げます、お祝いの言葉といたします。

2 協会役員の変遷 (昭和21年設立)

年 度	会 長	副会長	理事長	事務局長	事務局
昭和21年	駒形 祐規	西方 常蔵 鹿俣 栄寿 渡部喜代次	高橋 哲夫	高橋 哲夫	米沢工業 振興協会
昭和24年	白田 虎雄	西方 常蔵 齋藤 (マツヤ)	高橋 哲夫	高橋 哲夫	西方石炭店
昭和34年	白田 虎雄	西方 常蔵	高橋 哲夫	有路 光雄	米沢家政高
昭和36年	白田 虎雄	西方 常蔵	高橋 哲夫	齋藤 俊也	米沢工業高
昭和38年	白田 虎雄	西方 常蔵	高橋 哲夫	有路 光雄	米沢中央高
昭和39年	白田 虎雄	西方 常蔵	高橋 哲夫	齋藤 俊也	米沢工業高
昭和46年	白田 虎雄	西方 常蔵	高橋 哲夫	齋藤 俊也	米沢東高
昭和52年	白田 虎雄	高橋 哲夫	齋藤 俊也	齋藤 俊也	米沢東高
昭和57年	篠原 守信 (顧問 白田虎雄)	高橋 哲夫 小笠原富雄	齋藤 俊也	齋藤 俊也	米沢東高
昭和59年	篠原 守信 (顧問 高橋哲夫)	小笠原富雄 齋藤 俊也 松田 俊春	亀岡 剛	亀岡 剛	米沢中央高
平成 元年	小笠原富雄 (顧問 高橋哲夫)	齋藤 俊也 松田 俊春	亀岡 剛	大滝 勤	米沢女子高
平成 8年	小笠原富雄 (顧問 高橋哲夫)	齋藤 俊也 松田 俊春 亀岡 剛	大滝 勤	大滝 勤	米沢女子高
平成12年	齋藤 俊也 (顧問 高橋哲夫) (名誉会長 小笠原富雄)	松田 俊春 亀岡 剛 足立幸一郎	樋口 哲弘	大滝 勤	九里学園高
平成14年	齋藤 俊也 (顧問 高橋哲夫) (名誉会長 小笠原富雄)	松田 俊春 亀岡 剛 足立幸一郎	関谷 知樹	金子 雅明	ヒンホソカネコ
平成16年	亀岡 剛 (顧問 高橋哲夫) (名誉会長 小笠原富雄) (名誉会長 齋藤 俊也)	松田 俊春 足立幸一郎 樋口 哲弘	関谷 知樹	金子 雅明	ヒンホソカネコ
平成18年	上記に同じ				以上